

自己の使命に打ち勝つ

大宇宙の根元を以て、總ての和合に精進すべきであります。

ここにあたりまして合氣道を少し、説明して明らかに致すゆえんであります。

合氣道は日々新しく天の運化とともに古い衣を脱ぎかえて、生長、達成、向上を続けて研修しておるのであります。

道人たる私は武の道をとおして、宇宙万界天地の万象、その真性に学びまして、宇宙に同化し、かつ御姿、御振舞いを御魂に現すべく、誠の修行に専念しております。研修は合氣の道より、遂には天地和合の理を悟り、宇宙の理道たる使命は如々く分身分業であります。

すなわち宇宙は秩序正しき一家の如く、また一大巨人の如く、ますます完成に至大無限、至小無内無終に、照り輝いているのであります。

過去、現在、未来を運化とともに退蔵しているのであります。そして、ますます、無限に人類も千古の昔、過去、現在、未来を退蔵して、進化成長の道として、世界万有人の一声に統べられたる天の運化であります。

時すでに吾人のうえに至仁至愛の世は進んでいるのであります。

仏者のいう「みろくの慈光」を浴びつつも、天地の経倫の主体であります人類まだ心の眠りさめやらず、大御親は今もあるを、仕組みのもとに、神仏儒前の世界に身を御化生され、生成化育の大道を営み守り給、幸はい給まわりつつあるとときであります。

吾々は世のため己が靈魂を磨き、そして光華明彩、至善至道、伊都能売魂となりまして、大自然を自ずから自分と致し、天の使命にご奉公しなくてはなりません。

いたずらに理道を汚し悪汚の鏡を、世界の上に書きぬようにせねばなりません。

世界の鏡となり、よき指標となるよう善の形を示し大平和のための鏡となることであります。

また、天の平和な姿を地上に移しましょう。

与えられたる界……。

時まさに宇台に和合の天の声、雷の如く人々に眠りを醒まさせるときであります。

夜はすでに明けたのであり和合へ……。

大御親の思いも久しく世界完成の目的たる愛の大精神は大虚空から一颯の・「ス」のコトタマより七十五声、コトタマを生みだし七十五声を以て、宇宙、世界万有を生み出すのであります。

コトタマの妙用は一靈四魂三元八力の宇宙の活動、イキ……。

「ス」の本を真としてともに分身分業。各自に与えられたる天の使命に精進すべきであります。

また、合氣道は人に勝たんがためではありません、喧嘩、争い、戦争に勝たんががためでもありません、自己に与えられたる天の使命に勝つのであります。

自己の使命に打ち勝つことであります。その修行のはじめにあたりまして、正勝、我勝、勝速日の道程によりまして、有りのままの天地の運化に進むことであります。自己の善とか正しきを忘れて、真の善や正しきを知らんまで、先ず修行にはげまねばなりません、天国の天人は天国の何人たるを知りません、それは天人そのものが、天国であるからであります。